

補助金所要(精算)額計算書

記載例

補助金額計算表

① 補助対象事業概要	② 総事業費 (千円)	③ 国庫補助額 (千円)	補助対象経費	備考(国庫補助金名を記載)
運行管理システム	1200000	600,000	600,000	交通DX・GXによる経営改善支援事業等補助金
乗務日報自動作成システム	1200000	600,000	600,000	
配車アプリ	1200000	600,000	600,000	
多言語案内用タブレット	1200000	400,000	800,000	
			0	
<p>①補助対象事業概要:補助対象メニューより該当するものを記載 ②補助対象経費:税抜金額を記載 ③国庫補助額を記載 ④負担割合:「100%」ただし、地域鉄道は県の負担割合を記載 ⑤該当する場合のみ記載 ⑥該当する交通モードを選択 ⑦バスの場合、整備車両数を記載</p>				
小計	4,800,000	2,200,000	2,600,000	
負担割合	④ 100.00%			
合計	4,800,000		2,600,000	

控除額(ひょうご新交通系IC共通プラットフォーム整備事業関連) ※共通PF整備の1/4を記入			⑤
補助率	1/4	補助算定額	650,000
補助上限	鉄道・航路 30,000 千円 バス 420千円×台 タクシー 1,500千円	交通モード	⑥ タクシー
		バスの上限計算 整備車両数	⑦ 1,500,000
補助申請額			650,000

「区分」については、路線別、事業別、補助率別、工事箇所別に記載すること。
 「補助対象事業概要」には、工事箇所毎の工種、延長、数量等工事の概要を簡潔に記載すること。

(注1) 変更申請時は、備考欄上段に () 書きで変更前金額、下段に差額を記入する。

(注2) 実績報告時は、変更申請時は、備考欄上段に () 書きで変更前金額、下段に差額を記入する。